

「大人の学びの場」開放

県内NPO「就労へ自習スペース

学びたい人、誰でもどうぞ。NPO法人「山梨県キャリアコンサルティング協会(ACC)」が、富士吉田市で中央市に開設している学習スペースが、大人の就労準備の場として利用されている。ひきこもり経験者や求職者を対象にした無料の「学び直し」の場。昨年8月の開所以降、高校、大学の中途退学や就職活動中の若者が利用し、進学や資格取得に結び付いたケースも出てきている。担当者は「学校、職場以外の居場所としても定着させたい」と話す。

「今日はこのページから解こう」。富士吉田市長吉田の工場の「どんな資格がトスライシヨウ」(どんな資格がトスライシヨウ)内に開設されている学習スペース「てらこや」。

同市内で就職活動中の女性(25)は、漢字検定の問題を集めながら、学習支援員のYCCA職員、勝俣千夏さん(25)と問題を解き始めた。

学習スペースは自習形式で自由に利用できる。分からない問題は教員免許を持つ学習支援員と一緒に考え、理解を深める。利用している女性の一人は、漢字検定やパソコン技能など就職に役立つ学習に取組み組んでいるといい、「分かりづらい部分は教えてもらいたくないから、都合の良い時間を使う。集中的に勉強できる」と話す。

NPOの学習支援事業は昨年8月にスタートし、学習ス



学び直しを無料でサポートする「てらこや」で学ぶ女性(手前)と学習支援員勝俣千夏さん
＝富士吉田市長吉田の工場の学習ス

ペースには教員資格を持つ学習支援員とキャリアカウンセラーを配置。中央市若宮の人材育成業「アトミック」内に「フライングカフェ」を設ける者の就労支援に取り組む「どんな資格がトスライシヨウ」の利用者。これまでの生活に困窮世帯の子どものほか、高卒認定資格の取得を目指す高校生や、就職のためパンコノスキル向上を目指す20代が利用。看護学校への試験がある男性がサポート。試験問題を一緒に解くなど勉強士曜午前10時～午後5時。土曜午前10時～午後5時。三

に合格し、学習を支えた男性は「自己肯定感を持ってほしい。勝俣さんは「就職を目指す大人にとって、学び直しは

できるよになり、就労につなごうとした(YCCA)の宇佐美(美蘭理事)という。宇佐美理事は、事業について学習支援にどうまのす、それを活かす力を生かして、支え合う「居場所」として、高校を中退し高卒認定試験を利用者と作り上げてきた「てらこや ゆう」は火

で、自信を持って就職活動が080。